



「心に金メダル」

「スシ、テンプラ、ワサビ」・・・食欲の秋ですね。「カブキ、キモノ、マンガ、カラオケ」・・・文化・芸術の秋。「ジュウドウ、ケンドウ」・・・スポーツの秋でもあります。これらの言葉は、皆さんもご存じのとおり、世界の共通語として翻訳しないで使われている日本語の一例です。

「もったいない」という日本語も、訳さずに使われる日本語のひとつです。環境分野で初のノーベル平和賞を受賞（2004）したケニア人女性、ワンガリ・マータイさん（1940～2011）が、2005年に来日した際に感銘を受けた言葉が、「もったいない（MOTTAINAI）」という日本語です。この言葉に Reduce（ゴミ削減）・Reuse（再利用）・Recycle（再資源化）プラス Respect（尊敬）を感じ、環境を守る世界共通語として美しい日本語の「もったいない」を広めることを提唱しました。今もその運動は広がり続けています。

振り返って私たちの生活はどうでしょうか。豊かさの中で、ともすると物や人の気持ちを大切にすることを失うことはないでしょうか。きこりんでは、子どもたちが帰ったあとにテーブルや床に置き忘れられたビニール袋があります。中を確認すると、まだ飲み物が入っているペットボトルであったり、食べかけのお菓子の袋であったり、お金（おそらくおつりでしょう）もあります。でもその忘れ物を取りに来る人はいません。なんだか寂しい気持ちになります。

「もったいない」という言葉が生まれた国に育った私たちは、未来の大人になる子どもたちにその心を伝えていきたいものです。

お知らせ

「学びの広場 ホットスペース ちえの輪」

～きこりん内にオープン！！～

*宿題中心のチーム学習会、進路や勉強方法の相談

*曜日：毎月第2・第4火曜日（祝祭日除く）

*時間：午後4時～6時まで

*対象：小学3年生～中学生、

中学を卒業した18歳以下（高校中退等）

*定員：5名～10名程度

*詳しくは、西多摩くらしの相談センター

電話 0428(25)3501 まで



「あそびの広場・理科教室」8/24
 ポンポン船の仕組みを学んで、実際に作
 って、いざ入水！うまく進んだ時の
 「やったあ！」という歓声と満足げな
 顔、顔、顔。後日保護者の方から夏休
 みの自由研究に今回学んだことを活
 かしてくれたという嬉しい報告もあり
 ました。



写真で綴るきこりんの夏（6月・7月・8月）



「こんなときはどうする？その1」6/27
 奥多摩病院のご協力をいただき、松平慶先生か
 ら子どものけがや病気の対応を解り易く教えて
 いただきました。熱心に聞いていますね。

「こんなときは
 どうする？その
 2」 7/12
 奥多摩消防署の
 ご協力で、AED
 の使い方等を学
 びました。忘れて
 しまうので毎年
 継続して開催し
 てもらえるのが
 嬉しいと参加者
 からの声です。



「ぴよぴよ☆
 ひろば」7/29
 きこりん2階の
 芝生に簡易プー
 ルを出して水遊
 び！子ども達の
 歓声に準備の疲
 れも暑さも吹き
 飛びます。

このほか「絵本といっしょ」「キッズ・リトミック」「親子体操」が開催されました。子どもたちの願いを短冊に込めた七夕飾りも訪れる人を和ませてくれたようです。きこりんのホームページにも写真が掲載されています。皆さん、ご覧ください。



予約・問い合わせ等

奥多摩町子ども家庭支援センター きこりん 電話 85-2611

*相談専用メールアドレス：kikorin@town.okutama.tokyo.jp

*相談専用電話 85-1788

*<http://www.town.okutama.tokyo.jp/kurashi/kosodate/shien/center/index.html>